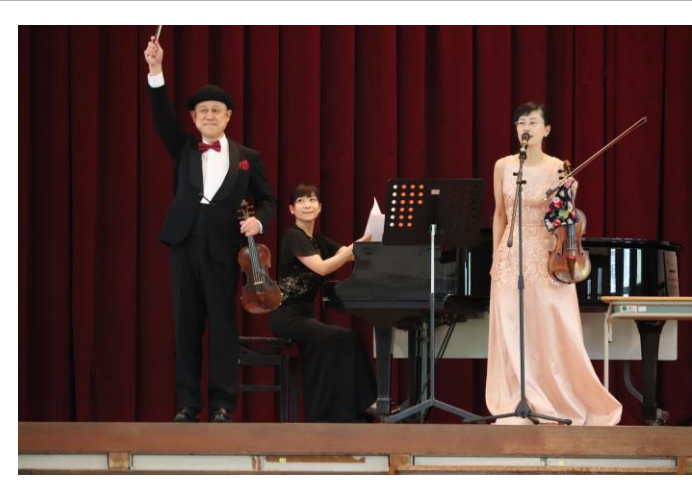


## 芸術鑑賞会を行いました

5月1日（月）に、芸術鑑賞会を実施しました。

今年度は、『サンデー西村出張演奏会』と題して、ヴァイオリン奏者のサンデー西村さん、ヴィオラ奏者の中野さん、ピアノ奏者の岸野さんをお迎えして演奏会を行いました。

演奏会では、たくさんの曲を披露していただき、ヴァイオリンについても教えていただきました。



●ヴァイオリンは木でできています。マツやカエデでできています。

●ヴァイオリンの弓の毛は、何でできているのでしょうか。

- ①馬の尻尾の毛
- ②校長先生の髪の毛
- ③かえるの尻尾

⇒正解は、①の馬の尻尾の毛です。



●弦は、何でできているのでしょうか。

⇒弦は、羊の腸でできています。

他に羊の腸でできている物には、テニスのラケット（ガット）やウィンナーソーセージがありますね。





## 全員で、曲に合わせてリズム打ちをしました



## 代表児童がヴァイオリン体験をしました



代表の児童がヴァイオリン体験をしました。「ラ」と「ミ」の音をそれぞれが担当して、『きらきらぼし』を演奏しました。



●最後に、サンデー西村さんの好きな言葉を教えていただきました。  
それは、バーンスタインの言葉だそうです。  
音楽を聴いた時、『自分の感じたままがいいんだよ。』という言葉でした。

素敵な言葉だなあと思いました。

●ヴァイオリンの弦は4本で、「ソ」「レ」「ラ」「ミ」の音が出ます。  
ヴァイオリンは、弓で弦をこすって音を出します。ギターのように指ではじいて音を出すことを『ピチカート』といいます。

●ヴァイオリンは、400年ぐらい昔から作られています。手で作られています。現在ではセラミックのヴァイオリンも試されていますが、いい音が出なかったようです。ヴァイオリンは、謎だらけです。300年ぐらい前に作られたヴァイオリンがとってもいい音が出ています。

★「この学校で一番有名な曲を演奏します。」と曲紹介をされ、校歌を演奏してくださいました。ヴァイオリン・ヴィオラ・ピアノで演奏された校歌は、優雅でゆったりした心地よい校歌でした。子どもたちは、自然と口ずさんでいました。

●楽器を弾くのは難しいです。一日の練習は一日分だけ、一か月の練習は一か月分だけ、一年の練習は一年分だけ上達します。コツコツやっていたら、その分上達するという事です。